

令和4年第4回八峰町議会臨時会会議録

令和4年8月4日（木曜日）

議事日程第1号

令和4年8月4日（木曜日）午前10時開会

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 諸般の報告

第4 議案第54号 令和4年度八峰町一般会計補正予算（第3号）

出席議員（12人）

|          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1番 笠原吉範  | 2番 伊藤一人  | 3番 奈良聡子  |
| 4番 芦崎達美  | 5番 水木壽保  | 6番 菊地薫   |
| 7番 腰山良悦  | 8番 見上政子  | 9番 須藤正人  |
| 10番 門脇直樹 | 11番 山本優人 | 12番 皆川鉄也 |

欠席議員（0人）

説明のため出席した者

|                                      |       |                              |       |
|--------------------------------------|-------|------------------------------|-------|
| 町長                                   | 森田新一郎 | 副町長                          | 日沼一之  |
| 教育長                                  | 川尻茂樹  | 総務課長兼<br>新型コロナウイルス<br>総合対策室長 | 和平勇人  |
| 税務会計課長                               | 成田拓也  | 企画財政課長                       | 高杉泰治  |
| 福祉保健課長                               | 石上義久  | 教育次長                         | 山本節雄  |
| 学校教育課長                               | 山内章   | 産業振興課長                       | 山本望   |
| 農林振興課長                               | 浅田善孝  | 建設課長                         | 石嶋勝比古 |
| 農業委員会事務局長                            | 工藤善美  | 生涯学習課長                       | 今井利宏  |
| あきた白神体験センター所長                        | 菊地俊平  | 防災まちづくり室長                    | 内山直光  |
| 福祉保健課副課長兼<br>新型コロナウイルスワクチン<br>接種対策室長 | 若狭正和  | 福祉保健課副課長                     | 成田公誠  |
| 農林振興課副課長                             | 堀内和人  |                              |       |

---

議会事務局職員出席者

議会事務局長 佐々木 高 議会事務局庶務係長 須藤 佳奈子

---

午前10時00分 開 会

○議長（皆川鉄也君） おはようございます。

これより令和4年第4回八峰町議会臨時会を開会します。

ただいまの出席議員数は12名です。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、八峰町議会会議規則第124条の規定により、9番須藤正人君、10番門脇直樹君、11番山本優人君の3名を指名します。

日程第2、会期の決定を議題とします。

本臨時会の会期は、本日1日限りとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 異議なしと認めます。したがって、本臨時会の会期は、本日1日限りと決定しました。

日程第3、諸般の報告を行います。

議長報告につきましては、別紙報告書のとおりでありますので、朗読は省略させていただきます。

森田町長より発言を求められておりますので、今議会提出議案の提案と併せ報告願います。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 皆さん、おはようございます。

本日、令和4年第4回八峰町議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様には大変お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

開会に当たり、本臨時会を招集した経緯についてご説明いたします。

7月21日、第104回全国高等学校野球選手権大会秋田大会の決勝戦が行われ、能代松陽高校が優勝し、8月6日から兵庫県の阪神甲子園球場で行われる全国大会への出場権を得ました。

また、7月31日、第67回全国高等学校軟式野球選手権西東北大会の決勝戦が行われ、

能代高校が優勝し、8月24日から兵庫県の明石公園第一野球場及び姫路球場で行われる全国大会への出場権を得ました。

町といたしましては、両校の健闘をたたえとともに、全国大会での活躍を祈念して寄附を行いたいと考えており、今臨時会は、関係予算を措置するため招集したものであります。

それでは、今臨時会に提案している議案についてご説明いたします。

議案第54号、令和4年度八峰町一般会計補正予算（第3号）は、100万円を追加して、歳入歳出予算の総額を65億4,470万4,000円とするもので、能代松陽高校硬式野球部及び能代高校軟式野球部への寄附金の追加補正であります。

報告第4号及び第5号は、5月16日、社会福祉法人八峰町社会福祉協議会の職員が、町所有車両を運転中に、前方を走行していた相手方の車両後方に追突し、車両の一部を損傷させた事故について、八峰町長の専決処分の指定に関する条例の規定に基づき、損害賠償を行うこと及び損害賠償に要する費用を措置した令和4年度八峰町一般会計補正予算（第2号）の専決処分報告であります。

以上、今議会臨時会の議案は1件で、報告件数は2件であります。

詳細については、議案提案の際に説明させますので、よろしくご審議の上、適切なご決定を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（皆川鉄也君） 日程第4、議案第54号、令和4年度八峰町一般会計補正予算（第3号）を議題とします。

当局の説明を求めます。日沼副町長。

○副町長（日沼一之君） 議案第54号についてご説明いたします。

議案第54号、令和4年度八峰町一般会計補正予算（第3号）。

令和4年度八峰町の一般会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによります。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ100万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ65億4,470万4,000円とするものでございます。

このたびの補正予算は、先ほど町長のご挨拶にもありましたように、11年ぶりに甲子園大会への出場を果たしました能代松陽高校の硬式野球部、それから2年連続で全国大会への出場を果たしました能代高校の軟式野球部への寄附金でございます。

歳入歳出の補正内容につきましては、事項別明細書6ページ以降をご覧くださいながら、歳入歳出の順にご説明いたします。

6・7ページをお願いいたします。

歳入ですが、20款繰越金1項繰越金1目繰越金につきましては、補正財源といたしまして1節一般会計繰越金へ前年度繰越金100万円の追加補正でございます。

続きまして歳出をご説明いたします。

8・9ページをお開きください。

2款総務費1項総務管理費14目諸費へ100万円の追加補正でございます。内容につきましては、25節寄附金へ、能代松陽高校甲子園出場寄附金として80万円、能代高校全国軟式野球選手権大会出場寄附金として20万円、合わせて100万円の追加補正でございます。

説明は以上でございます。何とぞご承認いただきますように、よろしくご審議をお願いいたします。

○議長（皆川鉄也君） これより議案第54号について質疑を行います。質疑ありませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） ちょうど100万円っていうことですがけれども、この100万円という金額に、こう8割・2割を等分したのか、それとも、初めてじゃないので、今までどのように寄附していたのか、金額、松陽高校も能代高校も初めてじゃないので、前例があったのか、100万円で切りをつけたのか、もし変動があったらその変動の意味を教えてくださいたいと思います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの8番議員の質問に対し、当局の答弁を求めます。日沼副町長。

○副町長（日沼一之君） ただいまの見上議員のご質問ですが、100万円の額の根拠といえますか、どのような区切りでやったのかということですが、平成22年、まあいろいろこの議会の動きを調べてみました。22年に同額100万円を寄附していると。基本はこれです。そして能代高校には当時5万円という公債費で出してあったようですが、この辺が近隣市町村と見れば少ないと、こういうことから、その後20万円にしています。このことを基本に今回も考え方は全く同じで、当時の考え方をそのまま踏襲いたしました金額でございます。

以上でございます。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） 今の質問に関連してですが、その平成22年の前例を踏襲し

たということですが、その100万円としたその根拠ですね、数字、100万円と出したその根拠。例えば経費における何割かを寄附として出すとか、そういう理由があれば教えてください。

それと、八峰町出身の選手が松陽に何人かいると思うんですけども、能代高校にもいるんですかね。その町出身選手の人数であるとか、あと、監督も八森出身ですけども、その辺も加味して寄附額を決めたのか、その辺ちょっと教えてください。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの3番議員の質問に対し、当局の答弁を求めます。日沼副町長。

○副町長（日沼一之君） ただいまの奈良議員のご質問1点目、経費100万円の根拠、これは特別根拠はないです。今回も経費6,000万円の目標ということは掲げてますけども、全町民のね総意で配慮したと、こういうことだと思います。当時の議会の動き見ても、その根拠ない、なかったんですよ。ですから、まあ能代市もそうですけども、前回と同じ額と、こういうことで近隣町村とも若干情報交換をしながら決めさせていただきました。

それからあと、もう1点目の生徒の内容ですけども、まず八峰町からの松陽高校、生徒数、これは1年、2年、3年含めて41名、そして選手が硬式部員として3年生2名、2年生2名、1年生はおりません。合計4名、これに監督が入るわけですね。そしてまた能代高校の方は、1年から3年まで49名、そして軟式の野球部員は3年生はおりません。2年生1名、1年生3名、ここはマネージャーも含めますけども、トータルで4名。このような内容になっております。

以上でございます。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。3番奈良聡子さん。

○3番（奈良聡子さん） 人数を聞いたんじゃないかと、その辺を加味して寄附額を決めたのかという質問でした。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの3番議員の質問に対し、当局の答弁を求めます。日沼副町長。

○副町長（日沼一之君） すみません。ただいまのご質問にお答えします。

人数の按分割とかそういう考えではございません。あくまでもこれは参考です。基本は前回は踏襲したと、こういうことでございます。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。9番須藤正人君。

○9番（須藤正人君） 見上さんの質問とダブるかもしれませんが、この寄附の金額ですね、この能代山本の他市町村のその寄附の動向、これを詳しく教えていただきたいと。まず1点。

それから、硬式野球部の80万円、軟式野球部の20万円、大きな差があるわけです。どちらも全国大会、関西まで行きます。これの20万円と80万円の違いの理由、これもお伺いしたいと思います。

それから、今後、これからですね、また全国大会とかいろいろ出ると思います。これからずっとこのままこれを、この金額を続けていくのかどうか。今後のこの寄附に対する展望ですね、これもお伺いしたいと思います。

それから、まあ今回は野球クラブ2つであります、今後、個人で全国大会出場することも多々あるのではないかと思います。この全国大会に出場した時のその寄附ですね、これはどうするのか。これもお伺いしたいと思います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの9番議員の質問に対し、当局の答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） まず他市町村の状況ですけれども、分かる範囲内で。これは基本的に相談はしますけれども、してますけれども、藤里町の方は、松陽高校の方には選手3人いますので、1人10万円っていうことで30万円という話を聞いてます。それから能代市は、まあ能代高校の方へは通常、選手がいれば町長交際費から5万円支出してるっていうのが藤里町の状況です。それから能代市は、松陽高校の部分に1,000万円、そして能代高校の軟式野球部は、今のところゼロです。勝ち進んでいくと、以前決勝まで行けば100万円というふうなそういう話を受けてますが、ここの部分についてはまだ未知数であります。三種町の部分については、正確な金額分かりませんが、情報交換しながら、まあ八峰町がそういうふうな形でいくのであればうちの方もそういう形でなりたいというふうな情報は得てますが、具体的な金額まではまだ得ておりません。

それから、20万円と80万円の理由、これはありません。基本的にその20万円と80万円、私、能代高校の同窓会長なので、できれば軟式野球部の方に、軟式野球部の方が非常に募金集めが苦勞しますので、まあそういう意味では多めに欲しいんですけど、これも前例があるのでこういうふうな形の中で提案させていただきました。特に、なぜ軟式野球部が20万円、硬式野球部が80万円なのかっていう部分に関しては、これは住民の野球に対する期待度の大きさ、甲子園っていう部分に対しては住民の元気さ、そういう部分に

対する期待度の大きさ、軟式野球部も残念ながら硬式野球の方が非常に盛り上がりますから、まあそういう部分じゃないかなというふうな形で推測はしています。

それから、今後の寄附の部分につきましても、今現在の前例を参考としながら、他市町村と意見交換を踏まえながら整合性を図って寄附をしていかなければいけないというふうな形で思っています。

それから、個人の全国大会出場部分については、それぞれの高校に体育後援会とかそういう組織があって、親御さんたちからPTA会費とか体育後援会費とか文化後援会費とかそういう部分を集めて、その中でやりくりしておりますので、その部分に対する町からの支援は必要ないものというふうに思っています。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。9番須藤正人君。

○9番（須藤正人君） 能代高校の軟式野球部、全国大会2回優勝しています。国体も1回優勝しています。その実績のある能代高校の軟式野球部にね20万円、そして、まあ硬式野球部に80万円というのは、ちょっと私は整合性がとれてない。半分、まあ期待度と言いますけども、やはり軟式野球の全国大会優勝というのはものすごく重いものがあります。そういう実績を踏まえて考えた場合ですね、やはりある程度の金額、20万円、80万円ではなくて、もう少しその軟式野球部の方にも目を向けて金額を増やしていく、これはもう当然ではないかというふうに思うんです。期待度でいったら軟式野球部の方が全国大会2回優勝してるんですよ。国体も1回優勝してるんです。それを考えれば、私は軟式野球部の期待度はものすごく大きいものがあるというふうに思います。

それから、まあ他のクラブ、体育後援会があるということですが、まあ個人は体育後援会から出てもいいでしょう。でも野球のようにクラブチーム、チームで全国大会出た時は、やはり野球だけで重きを置くのではなくて、他のスポーツにもやっぱり大きな期待を寄せて重きを置いていくと、これは大切です。だから今からね、この野球2つだけでなく、今後のそういういろんなスポーツ、個人、チーム、それが全国大会に出た時も、やはり平等に公正に、今この寄附をね町からやるのであれば、今後ね、そういう他のスポーツに対してのそういう決まり事、寄附に対する決まり事をしっかり決めていく、これは大切だと思います。どうでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの9番議員の質問に対し、答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） まず軟式の野球の実績、これは硬式野球甲子園大会に出場した

チームよりは圧倒的に実績は高いというのは、須藤議員おっしゃるとおりであります。ですけれども、私も同窓会長としても何年も募金活動、町長なる前からやってきたけれども、反応が鈍いんですよ、住民の皆さんの。盛り上がりが出ていない。欠けるんです。いくら実績があるといってもですね。まあそういう部分からして、私、今回の部分に関しては、能代高校の同窓会長であり、かつ全国大会派遣後援会の会長でもあるんですが、その募金活動する部分について頑張らしようという話なんです、ここの部分の80万円と20万円の枠組みを崩す、そういう部分に関して崩した部分でなぜ崩したんですかって聞かれたら、なかなか理由が見つからないので前例を踏襲することといたしました。

それから、他のスポーツにもという話ですが、高校生の活動というのはスポーツだけではありません。例えば能代高校でいけば、ARDF、アマチュア無線の全国大会、世界大会、それから先般はブラスバンドが秋田県の中で初めて金賞を受賞して東北大会に行きました。ありとあらゆる団体競技があります。そこの部分については、基本的にPTA会費、それから文化後援会費、それから体育後援会費、こういう形の中でやりくりするのが普通なんです。そして私どもの方は、この重なった時、どうしてもその部分のやりくりできなかった時の部分として、文化後援会と体育後援会、予算を自由に行き来するようなことの部分をそれ許可しました。承認しました。合わせてどうしても足りなければ、能代高校の同窓会、そちらの方をお願いして、そちらの方から支援していただきながらここまでやってきておりますので、そこの部分までいわゆる町として支援するという部分に関しては、私は今、消極的な考え方です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。9番須藤正人君。

○9番（須藤正人君） まあ軟式野球部は寄附が集まらなないと、なかなか難しいと。今、硬式野球部は寄附が集まるんですね。そういう軟式、寄附が集まらない軟式野球部に多く寄附するというのは、普通の考えじゃないですか。寄附が集まらない軟式野球部を重きを置いて寄附を大きくする。普通の考え、それが何でね同窓会の中で話し合われたら、私が返す言葉もないようなそんな理由が出るんですかね。そんなことではないでしょう。同じ高校生が全国大会、大阪と明石に行ってね勝ち進めば、それなりにお金がかかるんですよ。それに対してね、こんな20万円と80万円のね差をつける。私はどうも解せない。まあ今回はこれで補正出たわけですけども、まあ認めますけどもね、今後はね、やはり軟式野球部に対してももう少し重き置いて、そして活躍してもらおうと、そういうような



方向に進めていただきたいというふうに思います。

ブラスバンドとか無線の大会とか1日で終わるんです。1日で終わるんですね。この野球は確かに何日もかかってお金もかかる。でもそのほかの文化後援会には文化的なクラブ、それからスポーツクラブ、全国大会、いろんなチームで行きますよ。でもこれをね野球部だけ町で寄附する。あとのクラブはそういう体育後援会、文化後援会に任せるというのであればね、私は少し違うんじゃないかなと。どうも野球に対してね、町長は張り切りすぎ。もっと別な文化活動からスポーツ活動、それに対して平等にね物事を考えていく。大切なことですよ。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 能代高校の同窓会長として、そして能代高校の教育振興会の会長としても、その部分も加味して申し上げますけれども、基本的に子どもたちの部活動にかかる経費は子どもたちの親御さんが負担するというのが基本的な原則です。ただ、野球の部分に関しては非常に多額の経費がかかるので、親御さんたちの負担では賄いきれないので、市民の皆さんに寄附を求めて、その部分でこうやってきてるのが通常でありますので、その部分については、これまでもこれまでと同じような形で今後も続けていきたいと思っておりますけれども、全ての部分にそういう形でやるっていうのは、これはやっぱり教育の分野からもおかしいというふうに思っています。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。

○9番（須藤正人君） 議長、再々質問で、さらにもう1回の質問になるんですが、許してください。

○議長（皆川鉄也君） はい。ほかに質問ございませんか。

○9番（須藤正人君） いいですか。

○議長（皆川鉄也君） 9番。

○9番（須藤正人君） 再々質問。

○議長（皆川鉄也君） はい。須藤正人君。

○9番（須藤正人君） 町長、能代高校の同窓会会長、ほかの高校もいっぱいあるんですね。町長は能代高校の同窓会の会長としての考え方を今話ただけで、もっと郡内には高校があるわけですよ。それは町長が同窓会会長と一緒にだと、その見地からお話をしてる。しかし、ほかの高校、同窓会、ほかの高校が出るかもしれない。まあ松陽高校は能代高校と違うわけですね。だからそういう面を含めてですよ、物事を、全体の高校の

クラブ活動を見据えた形で物事を考えていかないと、私は駄目だと思います。まあ今回はこの提案ですけれども、賛成しますけれども、今後やはりもう少しね考えた方がいいというふうに思います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 能代山本管内に硬式野球部は、能代高校と能代松陽高校と能代科学技術高校、その3つがあります。軟式野球部は、能代科学技術高校と能代高校の2校です。たまたまの組み合わせで平成22年のアベックの時と同じように、あの時は能代商業でしたけれども、能代松陽と能代高校になりました。この組み合わせが、例えば科学技術高校が甲子園に行く、あるいは軟式野球で明石に行く、そういった場合も当然この部分の考え方は踏襲していきますので、基本的には平等な形で支援してまいりたいというふうな形で思っています。決して能代高校だから、能代松陽だからというふうな話ではありませんので、これは基本的には行政はそういうバランスをとりながら進めていかなきゃならないもんだというふうに思っていますので、能代科学技術高校が甲子園に行ったり、同時に行くかもしれません。まあそういった場合についても、バランス欠かないようなそういう支援に心がけていきたいと思います。

○9番（須藤正人君） だから能代高校の同窓会の会長だからという話はあるまいしな方がいいよ。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 先ほどの町長の答弁で、私ちょっと藤里の30万円っていうのが非常に納得したんですけれども、北羽を見て30万円どうしてかなという疑問を持ってたんですが、スポーツ選手は本当にお金がかかって、家族の負担も非常に大変だと思います。そういう意味でも、藤里のように非常に分かりやすい、1人出身の生徒がいれば10万円、こういうふうなはっきりした決まり事を決めた方がいいのではないかと思います。で、まあプラスアルファで、野球部の場合はトーナメントでどんだん何回も何泊もしなくてはならないので、プラスアルファで考えた場合、やはりそれでいいんですけれども、基本的にはやっぱり1人10万円というこの枠をはっきり決めた方がいいと思いますが、町長いかがお考えですか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 能代市役所は硬式野球部に1,000万円寄附してます。1人10万円とかそういう形ではなくてですね、まあ私どもの八峰町としても、平成22年の時には

合計100万円。この時も同じ顔合わせでしたけれども、能代高校の部分では20万円、それから当時能代商業の部分には80万円というふうな形になっています。果たして1人10万円っていう形の物差しがいいのかなれば、まあいわゆるどういう形なるのかの部分については、今、私の部分とすれば、過去にそういうふうな実績が八峰町としてあるので、そこの部分を提案させていただいたということで、もしそういう形の部分があるとすれば3町連絡協議会とかそういう話の中で、それぞれの財政事情があるわけですから、それを強制するわけにはいきませんので、意見交換はしてみたいというふうに思います。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質疑ございませんか。10番門脇直樹君。

○10番（門脇直樹君） 須藤議員と少しかぶるんですが、町長、硬式をやる選手は甲子園を目指します。軟式をやる選手は明石を目指します。そして暑い日も寒い日もやる練習もほとんど変わりありません。ルールも硬式と軟式の違いだけで、ほとんどルールも一緒であります。町長はさっき期待度の違いとか寄附が集まらないと言いましたが、野球に打ち込む気持ちは高校生の子どもは同じだと思います。その気持ちに対するものの対価が寄附だと思うんですよ。だからやはり何だこの20万円、80万円っていうのはちょっとバランス悪いかと思います。確かに甲子園の方が選手の数、随行する人間、日数等、かかり増しの経費が多いことは分かりますが、甲子園ばかりにスポットを当てないで、やはり軟式にももう少し光を当ててやるべきだと思います。よろしく願います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 私、町長なる前に軟式野球部、練習試合から、それから県大会、それから東北大会、全て追っかけて見てまいりました。練習も見に行ったりしました。今、門脇議員がおっしゃるとおりです。選手たちは一生懸命、能代高校の部分でなぜ硬式野球部が勝てないかってば、優秀な選手が軟式野球部の方に行っちゃうんです。なぜかっていうと、全国大会行けるから、行ける可能性が高いからだ。その部分は重々知ってますけれども、現部分については、こう門脇議員おっしゃった部分については十分分かりますので、今後その部分については検討させていただきますけど、ここの部分については前例がありましたので、これを変えるほどの部分の理由が思いつきませんでしたので、逆にこれ50万円、50万円っていったら逆になかなか収拾つかなくなるっていう形に思ったので、こういうふうに提案させていただきました。

(「あとは町長のポケットマネーだな」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) ほかに質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) ほかに質疑がないようですので、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) 討論ないようですので、討論を終わります。

これより議案第54号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) 異議なしと認めます。したがって、議案第54号は原案のとおり可決されました。

これで本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

これをもって令和4年第4回八峰町議会臨時会を……

(「休憩をお願いします」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) 申し訳ございません。休憩をお願いします。

午前10時38分 休 憩

午前10時48分 再 開

○議長(皆川鉄也君) 休憩前に遡り本会議を再開します。

これより討論を行います。討論ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) 討論なしと認めます。

(「閉会でいいと思う」と呼ぶ者あり)

○議長(皆川鉄也君) ああ悪い悪い。ごめんなさい。逆だった。

これで本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

これをもって令和4年第4回八峰町議会臨時会を閉会します。

ご協力ありがとうございました。

---

午前 10 時 48 分 閉 会

署 名

上記会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

八峰町議会議長 皆川鉄也

同署名議員 9番 須藤正人

同署名議員 10番 門脇直樹

同署名議員 11番 山本優人